

川口の提言 川越版「ネウボラ事業」の実施を！

ネウボラとは、フィンランド語で「アドバイスの場」という意味で、産前・産後・子育ての切れ目のない支援を構築しているフィンランドの「ネウボラ」に習い、近年、「日本版ネウボラ事業」への取り組みも広がりつつあります。フィンランドでは、1人の保健師や助産師などの専門家（ネウボラおばさん）が、妊娠期から6歳まで継続して母子だけでなく、家族の心身の健康もサポートし、医療・育児など、さまざまな相談や、病院・学校などとのコーディネーター役にもなってくれます。こうしたネウボラという場所が全ての自治体にあり、継続的かつ総合的な支援サービスが行われています。

日本でも地域レベルでの結婚から妊娠・出産を経て子育て期に至るまでの切れ目のない支援の強

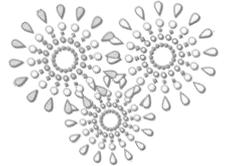
化を図っていくことは重要であり、支援を求める声も高まってきているとして、平成26年度には、厚生労働省において、全国29の市町村をモデルにさまざまな産前・産後・子育ての切れ目のない支援への取り組みが始まりました。

私は、全ての妊産婦と家族が対象の子育て支援策、「川越版ネウボラ事業」を実施すること、子育て世代が住みたいと思えるまちであることを示すことができる施策であると考えました。

市は、私の提言に対し、切れ目のない支援の重要性を認め、「この地域で子育てしたい」人を増やす施策として少子化対策にもつながるとの考えを示し、実施に向け検討していくと答えました。



会派「政晴会」を結成しました！



無所属の30代3人で、会派「政晴会」を結成しました。メンバーは、私（代表）と、明ヶ戸亮太議員（2期目）、樋口直喜議員（1期目）の3人です。市長派でも反市長派でもなく、市政発展のため、常に議論を重ね、是々非々のスタンスで取り組んで参ります。

私は1期目の当時、故 菊地 實議員が在籍する「市民クラブ」に席を置きましたが、菊地議員が亡くなられたことにより無所属となり、以来、無所属のまま活動を続けました。

先日、その菊地議員の政治姿勢がよく表れた一文を見つけましたのでご紹介させていただきます。

「みなさんの意志や声によって、政治は進めていくものですし又そうあらねばなりません。我慢することなく大いに声を上げてほしいのです。物をいう市民として市役所や出張所などに働きかけてほしいのです。そして、皆さんの要望が受け入れられないか、解決しない時に、私共議員を活用して欲しいのです。みなさんの声を足がかりに、人間優先の政治を市政に確立するため、努力していくつもりです。」

菊地實議員は、既成政党には属さずに市民活動、議員活動と長きにわたり精力的に活動されていました。私も、菊地議員意志を改めて心に刻み、これからも努力を続けます。

26年度政務活動費報告

1人月額7万円×12ヶ月＋利子＝840216円

科目	金額	備考
研究研修費	500円	フォーラム参加費
調査研究費	3600円	調査時の駐車場代
資料作成費	8260円	文具代
資料購入費	2315円	書籍購入費
広報公聴費	739118円	報告書作成・送付費
人件費	0円	
その他	0円	
合計	753793円	残額 86423円

政務活動費は、会派（議員）が行う調査研究活動、その他の活動に必要な経費の一部として交付され、市議会のガイドラインに沿って請求できますが、請求には1円から領収書の提出が必要です。

研究会等の主催及び参加費である研究研修費は、無料の研修会が多く500円。調査研究費は、自家用車と自転車移動での調査活動が多く、宿泊を伴う視察には行っておらず3600円。燃料代は請求していません。資料購入費は主に書籍代で新聞代は含めていません。広報公聴費は主に紙代と印刷代（印刷は自分でやっています）です。残金は市に返還。領収書原本は議会事務局で閲覧可。